

【前日】2026年11月6日（金） プレセッション

時間	第8会場	第9会場	第10会場
	407	408	409
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00			
14:00			
	受付時間 14 : 00～18:00		
15:00			
		15:00-17:00 イブニング・パネル 医療安全管理者のバトンを繋ぐ ー持続可能な医療安全体制構築と医療安全管理者（後継者）育成の戦略ー	15:00-16:00 医療機器と医療安全の 交流カフェ
16:00			16:10-17:10
			医薬品と医療安全の 交流カフェ
17:00			
18:00			

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	ポスター会場	ワークショップ 会場1	ワークショップ 会場2	
	大ホール	中ホール	小ホール	展示室C	展示室B	メインスタジオ	401+402+403	407	408	409	①～④ 展示場A ⑤ 大ホール南ウイエ ⑥ 中ホール南ウイエ	スタジオ1	404	
9:00	開会式 8:30-9:00 大会長講演 医療安全に関わるということ —経験、探究、そして次の世代へ—													
	9:10-10:10 特別講演1 臨床現場の困難に対するスピリチュアルケアの視点 森崎 雅好	9:00-10:30 PD-2 医療安全を支える専門職の持続可能性を問い直す—変化する現場とキャリアの再設計—	9:00-10:30 海外招請セッション1 Incorporating patient centered Shared Decision Making：患者中心の意思決定を実装するために	9:00-10:30 学会連携企画 パネルディスカッション2 【日本手術看護学会】 周術期におけるチーム医療のあり方—限られた人材で手術医療の質と安全を担保するには—	9:00-10:00 特別講演3 黒田官兵衛の姫路築城の知恵と姫路城を将来に残すための知恵 芳賀 一也	9:00-10:30 PD-8 視える化された“安全文化”をどう活かすか	9:00-10:30 PD-12 医療事故対策として必要な医用テレメータ電波管理の徹底	9:00-10:30 PD-15 医療安全の向上と効率化は両立するか-医療DXを加速させるGS1活用とその期待-	9:00-10:00 一般演題（口演）5 （活動報告） 実践的研修・シミュレーション教育の企画	9:00-10:00 一般演題（口演）11 （研究発表） 急変対応に関連する臨床研究・教育	9:00-10:00 一般演題（ポスター） P-1～P-5			
	10:00													
11:00	10:40-12:10 学会連携企画 パネルディスカッション1 【日本医療情報学会】 【医療安全に資する医療情報システム検討に関する合同委員会企画】 医療DXでどうなる？どうする？造形剤アレルギー情報	10:40-12:10 大会企画 パネルディスカッション1 多職種による医療安全教育的実践と共育への展開	10:40-12:10 海外招請セッション2 【国際委員会企画】 高齢者における医薬品の安全管理：オーストラリアとわが国の実践例紹介	10:40-12:10 学会連携企画 パネルディスカッション3 【日本看護管理学会】 エビデンスで現場を変える	10:40-12:10 PD-6 【医療事故調査等関連委員会企画】 医療機関における有害事象の把握と対応の判断：施設規模の違いを踏まえた検討	10:40-12:10 PD-9 医療安全もチームの一員！「救急集中治療における生命維持治療の終了・差し控えに関する4学会合同ガイドライン」	10:40-12:10 S-2 対応記録はどこまで共有すべきか—医療安全と法の観点から考える情報管理の実態—	10:40-12:10 PD-16 共同親権導入後の医療同意—医療現場で整理すべき主要課題	10:10-11:00 一般演題（口演）6 （活動報告） 画像診断・検査結果対応の質改善	10:10-11:00 一般演題（口演）12 （研究発表） 患者説明・意思決定支援(IC-SDM)	10:10-11:10 一般演題（ポスター） P-6～P-11	10:40-12:10 ワークショップ1		
	12:00													
13:00	12:30-13:20 教育セミナー1 画像診断レポートの見落としを自指して—AI支援による重要所見に対する患者対応 監査— 富士フイルムヘルシオ（株）	12:30-13:20 教育セミナー1 画像診断レポートの見落としを自指して—AI支援による重要所見に対する患者対応 監査— 富士フイルムヘルシオ（株）	12:30-13:20 教育セミナー2 CCOTから見たモニタリングの役割 一例を監視し、例に基づき、何を守るのか— 日本光電工業㈱	12:30-13:20 教育セミナー3 組織全体で取り組む Patient Safety 実現に向けて 南大塚製薬工場	12:30-13:20 教育セミナー4 デジタル技術で実現する医療の質と安全 —Super Smart Hospital構想とRFID活用の実践— 西テック（株）	12:30-13:20 教育セミナー5 転倒による大腿骨頸部骨折の発生抑制に関する研究および実証結果 TOPPAN㈱	12:30-13:20 教育セミナー6 療養観察モニターの予防的活用を目指した設置・設定基準の構築 アイ（株）	12:30-13:20 教育セミナー7 スポットチェックシステム導入による業務効率化と医療安全の向上 —手動からデジタルへ、看護業務の変化— アグロリンク（株）						
	14:00													
15:00	13:35-14:35 特別講演2 被災地から学ぶ医療安全のあり方 清元 秀泰													
	14:50-16:20 特別企画 【将来構想検討委員会企画】 変化する医療環境と安全—人間工学をもっと、知ろう。	14:50-16:20 PD-3 【将来構想検討委員会企画】 変化する医療環境と安全—人間工学をもっと、知ろう。	14:50～15:40 一般演題（口演）1 （研究発表） 生成AI・データ活用による医療安全DX	14:50-16:20 PD-5 患者参加型医療実現のための患者とのカルテ共有：リアルタイム共有によって何が起こったか	14:50-16:20 PD-7 【広報委員会企画】 「経験の継承と科学的探究～せらなる高みをめざして～」の広報を考えていこう	14:50-16:20 PD-10 【医薬品・医療機器・放射線安全委員会 医療機器部会企画】 経験から学ぶ中小規模施設の医療機器管理	14:50-16:20 PD-13 Speak upを再考する—人の行動特性を踏まえた多職種によるチーム医療—	14:45-15:45 一般演題（口演）2 （活動報告） 研修医教育・報告文化醸成の取り組み	14:45-15:45 一般演題（口演）8 （研究発表） 薬剤・与薬に関する安全管理	14:45-15:45 一般演題（口演）14 （研究発表） 経管栄養・リハビリ・患者確認に関する安全対策	14:45-15:45 一般演題（ポスター） P-16～P-21	14:50-16:50 共催ワークショップ2 ニチバン（株）		
	16:00													
17:00	16:30-18:00 PD-1 シングルカダブルか？：投薬エラーを防ぐ実効的な確認体制を再考する	16:30-18:00 PD-4 ポリファーマシー対策が導く医療の質・安全向上 —経験の継承から地域へつなぐ多職種協働モデル—	16:30-18:00 海外招請セッション3 オランダにおけるSafety-IIへの政策転換の経験から—日本が学ぶこと—	16:30-18:00 学会連携企画 パネルディスカッション4 【日本プライマリ・ケア連合学会】診療所・中小医療機関から学ぶ質向上と安全の取り組み—リバーズ・イノベーションとしてのプライマリ・ケア領域の実践知—	16:30-18:00 S-1 【医療安全ネットワーク委員会企画】 第2回 医療安全Co-Labミーティング—境界を越え、実践を編み直す—	16:30-18:00 PD-11 【学会誌編集委員会、学術委員会、安全調査研究倫理審査委員会 合同企画】 論文作成・投稿を実現するために必要なこと	16:30-18:00 PD-14 医療現場における問題解決手法の有効性～実際の経験から得た成功のコツとビットフォール～	15:55-16:55 一般演題（口演）3 （活動報告） RRS運用と生成AI・データ活用の実践	15:55～16:55 一般演題（口演）9 （活動報告） 薬剤・与薬に関する安全管理の実践	15:55-16:55 一般演題（口演）15 （研究発表） RRS・急変対応システムの評価	16:00-17:00 一般演題（ポスター） P-22～P-27			
	18:00													
懇親会（アクリエひめじ1F展示室A）18：30開始予定														

【2日目】2026年11月8日（日）

時間	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	ポスター会場	ワークショップ会場 1	ワークショップ会場 2		
	大ホール	中ホール	小ホール	展示室C	展示室B	メインスタジオ	401+402+403	407	408	409	①～③ 展示場A	スタジオ 1	404		
9:00	8:30-10:00 PD-17 患者教育を基盤とした周術期医療の質安全向上― 多職種連携と入院支援の実践 ―	8:30-10:00 PD-19 【教育委員会企画】 激論！多職種が学ぶ医療安全カリキュラムとは	8:30-9:30 一般演題（口演）17 （研究発表） 転倒転落リスク評価ツール・予測モデル	8:30-10:00 学会連携企画 パネルディスカッション5 【日本クリニカルバス学会】 クリニカルパスによる医療マネジメント	8:30-10:00 PD-21 【医薬品医療機器放射線安全委員会（医薬品部会）企画】 医療安全情報の活かしか方―多様なステークホルダーによる協働―（PMDAとの共同企画）	8:30-10:00 PD-24 抗アミロイドβ抗体治療時代の認知症医療安全 ―ARIA管理・放射線科連携・持続可能な診療体制の構築―	8:30-10:00 PD-27 カルテ開示の積極的意味とベシエントハラメントにおける安全配慮義務	8:30-10:00 PD-30 チームで育む診断の安全性：SDGs・NCDs時代におけるフイマリ・ケアでの「Measure Dx」の活用	8:30-10:00 PD-32 科学的P4S活動の動めー理念と科学に基づいた、改善されたSSー	8:40～9:30 一般演題（口演）30 （活動報告） 心理的安全性・安全文化醸成の取り組み	9:00-10:00 一般演題（ポスター） P-32～P-34		8:30-11:30 学会連携企画 ワークショップ		
	10:00	10:10-11:40 海外招請セッション4 医療による善を良の学習につなげるために必要な制度と運用 "From Harm to Learning: The Systems and Practices Needed to Turn Adverse Events into Genuine Improvement"	10:10-11:40 大会企画 パネルディスカッション2 医療の質・安全を高めるAI活用 ― HITO病院とツカガキ病医院の実践から学ぶ	9:40-10:40 一般演題（口演）18 （研究発表） 生体情報モニタ・アラーム管理	10:10-11:40 学会連携企画 パネルディスカッション6 【日本診療情報管理学会】 診療データで医療安全を守るー情報管理と質改善の協働調査	10:10-11:40 PD-22 【学術委員会、学会誌編集委員会企画】 医療安全管理者、QMS(TQM)推進者のマネジメント能力を活かすー人事ローテーションによる現場マネジメント能力の向上ー	10:10-11:40 PD-25 医療安全管理者、看護ケアにおける Choosing Wiselyー看護の「業務」と「質」を問う	10:10-11:40 PD-31 委託スタッフを含めた医療安全体制の再構築ー病院と委託スタッフの協働を支える安全な医療ー	10:10-11:40 S-4 患者安全のための病棟マネジメントへ安全を保証する最適看護配置実現に向けた分析と医療情報システムの開発～	9:40-10:30 一般演題（口演）31 （活動報告） モニタ・アラーム管理体制の構築(MACT活動)			10:15-11:15 一般演題（ポスター） P-35～P-37	10:10-11:40 ワークショップ 2 多職種で実践する医療機器安全管理への教育～インシデント活用・管理体制の現状と課題～	【日本医学シミュレーション学会】 医療安全を踏まえた周術期システム改善プログラム
	11:00									10:40-11:40 一般演題（口演）32 （活動報告） 患者誤認防止・確認行動の改善					
12:00															
13:00	12:00-12:50 教育セミナー8 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ① 丸山 七海	12:00-12:50 教育セミナー9 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ② 丸山 七海	12:00-12:50 教育セミナー10 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ③ 丸山 七海	12:00-12:50 教育セミナー11 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ④ 丸山 七海	12:00-12:50 教育セミナー12 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ⑤ 丸山 七海	12:00-12:50 教育セミナー13 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ⑥ 丸山 七海	12:00-12:50 教育セミナー14 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ⑦ 丸山 七海	12:00-12:50 教育セミナー15 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ⑧ 丸山 七海	12:00-12:50 教育セミナー16 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ⑨ 丸山 七海	12:00-12:50 教育セミナー17 「医療安全を支える実践」ー安全な医療提供を目指してー ⑩ 丸山 七海					
	13:00-13:20 会員総会 13:20-13:40 理事長講演														
	14:00	13:50-15:20 PD-18 転倒転落を解決する4つの新しいアプローチー問題を捉えなおし、生成AIやICTを活用するー	13:50-14:50 特別講演 5 金城 隆展	13:50-14:40 一般演題（口演）20 （活動報告） 医療事故対応・患者対話推進の実践	13:50-14:40 一般演題（口演）22 （活動報告） 外来・病棟における転倒転落防止の実践	13:50-14:40 一般演題（口演）23 （活動報告） モニターアラーム関連の個別改善と情報連携	13:50-14:40 一般演題（口演）24 （活動報告） 身体的拘束最小化への取り組み	13:50-14:30 一般演題（口演）25 （研究発表） 医療事故調査制度・医療訴訟の実務	13:50-14:40 一般演題（口演）26 （研究発表） 医療安全の組織体制・多職種連携分析(Safety-II等)	13:50-14:40 一般演題（口演）28 （研究発表） 処置・医療機器に伴う物理的安全対策	13:50-14:40 一般演題（口演）33 （研究発表） 感染対策・見守り機器による安全管理	13:50-14:50 一般演題（ポスター） P-38	13:50-15:20 ワークショップ 3 医療機関におけるTrustworthy AIの実現～患者安全の視点でAIを選ぶ・使う・管理する～		
15:00	15:30-16:30 特別講演 4 畑埜 義雄	15:00-16:30 S-3 レジリエンス・エンジニアリングに基づく安全管理を実践する ～評価、実践、アウトカムに関する多職種からの提言～	14:50-15:50 一般演題（口演）21 （活動報告） 転倒転落の特殊事例対応と現場改善活動	15:00-16:30 PD-20 その薬、本当に大丈夫？ー症例で読み解く Medication Reconciliation／Review の実践と多職種の役割	15:00-16:30 PD-23 生体情報モニタの安全管理を目指して～「現場の困りごと」から「組織の標準化」への提言～	15:00-16:30 PD-26 「確認」を確認する	15:00-16:30 PD-29 小児医療における質と安全管理の構造的課題を抽出する：多施設からの学び	14:50-15:50 一般演題（口演）27 （活動報告） 感染対策・組織運営の基盤整備	14:50-15:50 一般演題（口演）29 （研究発表） 報告行動と多様な臨床リスクの実態把握	14:50-15:40 一般演題（口演）34 （活動報告） タスクシフト・タスクシェアの実践					
16:00	表彰式・閉会式														
17:00															
18:00															